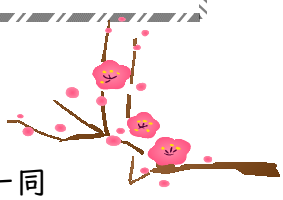
# ひきじだい

令和６（2024）年１月１０日
睦月（１月）号

大和市立
引地台小学校
HIKIJIDAI ELEMENTARY SCHOOL

明けまして
おめでとうございます



引地台小学校職員一同

## 「千里の行も一歩より起こる」

新しい年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年新型コロナウイルスが5類になり、行動制限のないお正月を迎え、外出の機会の多くなった年明けになったのではないでしょうか。朝、校門で登校の見守りをしていると、多くの子供たちから「おはようございます。」という元気な声が返ってきました。きっと、ご家族やご親戚と一緒に楽しく冬休みを過ごせたのではないかなと思います。3学期も、子供たちが楽しく登校できるようにしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、「千里の行も一歩より起こる」と言われますが、それは、「どんなに遠い旅路も、足元の一歩から始まる。転じて、遠大な計画の仕事も、始めは手近なところから着実に始めていくことが肝要である。」というたとえです。物事は初めが大事、しっかりした計画のもと着実に行うことが必要です。今学期どのような自分でありたいか、そのために、どのような努力をすべきかを考えて目標をもつことが大切です。そして、その夢、目標に向かうために、手前に小さな具体的な目標を立てそれを、実践することで、「初めの一歩」を踏み出すことです。例えば、大きなジャンプ台からスキーでジャンプをする選手も、始めは小さな雪山をジャンプすることから始めるそうです。「千里の行も一歩より起こる」とは、できないかもしれないと心配するのではなく、できる小さい目標をもって日々取り組み続けることにより、やがて、大きな目標を達成し、夢が実現されるのだと思います。

今年も「第100回箱根駅伝」を見ました。昨年は、K大学が往路、復路ともにトップで、8回目の総合優勝をしましたが、優勝を期待されていたA大学は、総合3位でした。一方、今年は、K大学が優勝と言われていましたが、A大学が「負けてたまるか大作戦」を掲げ、5時間18分13秒の大会新記録で2年ぶり6度目の優勝を果たしました。20年前に、始めの一歩を踏み出し、優勝という目標を立て、あきらめずに続け、試行錯誤しながら勝つための具体的な方法を考え、一つずつ実践したことによると思われます。

本校の学校重点目標の「自分からかがやく」には、子どもたちが自分の事だけではなく、他の人に対して、進んで「役に立ちたい。」という思いをもって欲しいという願いが込められています。例えば、あいさつ委員が、「みんなの役に立ちたい。」という気持ちから「あいさつ運動」に取り組んでいます。これは、あいさつを通して、「みんなを元気にしたい。」という思いが行動として表れています。人間はどんな人でも能力や才能を発揮したいという自己実現の気持ちを持っています。自己実現とは、自分だけのものと考えがちですが、実はそうではなく、他人との関わりにおいて成されるものです。自分が人のため、社会のために役立っている喜びを実感することは、自らの成長への原動力になると言えます。身近なことで、周りの人に貢献できるような内面の育成を目指していきたいと思います。学校教育目標の「豊かな人間性を持ち、よりよく生きる子」を育てるために地道に丁寧に取り組んで参ります。　　（校長）